

科目分類	医療のコラボレーション教育			開講学科	看護学科
科目番号	学年	配当セメスター	区分	単位数	授業時間数
18048	2	前期	必修	1	15
授業科目名 (英文)	キャリア教育Ⅱ (Career EducationⅡ)				
担当教員名	◎佐々木美奈子/山本由加里/米山万里枝/槌谷亜希子/ 廣島麻揚/林世津子/渡會睦子/伊藤美千代				
授業の概要及び到達目標					
<p>看護専門職の責務とそれを果たすために必要な力について、自己の実践に活かせるよう、具体的に理解することを目的とする。</p> <p>看護職というキャリアについて、専門職要件の一つである倫理綱領を通して理解し、また、倫理的ジレンマを伴う事例についてグループディスカッションを通して学ぶことにより、多様な考え方を理解し、正解が一つでない課題について、整理・検討する力をつける。</p> <p>到達目標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・倫理とは何かを理解する ・「看護者の倫理綱領」を理解する ・医療倫理の四原則を理解する ・事例をもとに四分割法および医療倫理の四原則の枠組みに沿って問題を整理し、様々な視点から議論することができる ・看護倫理について考え続けていくことの意味、必要性を理解する 					
準備学習等					
<p>第1回:授業までに、(社)日本看護協会ホームページから「看護者の倫理綱領」をダウンロードし、熟読してくること。</p> <p>第2回:授業からは、授業の復習を十分に行い、指定された課題を行うこと。</p> <p>第4回:授業で事例の紹介を行う。第5回授業までに、指定された枠組みで検討を行ってこること。</p> <p>第5回:授業開始時にミニテストを行うので、4回までの授業内容を十分に復習してくること。</p> <p>第7回・8回:発表・討論会となるため、自分の担当しない事例についても十分に理解して授業に臨むこと</p>					
成績評価の方法	<p>課題への取り組み状況 20% (個人ワーク 12%、グループワーク 8%)、 ミニテスト 30% 課題の成果物およびレポート 50% (発表・資料 40%、最終レポート 10%) の割合で総合的に評価する</p>				

テキスト	看護者の倫理綱領（社団法人 日本看護協会、2003） http://www.nurse.or.jp/nursing/practice/rinri/pdf/rinri.pdf
参考図書	看護職のための自己学習テキスト（社団法人 日本看護協会） http://www.nurse.or.jp/rinri/index.html 人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン（厚生労働省） http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000078981.pdf 人生の最終段階における医療の決定プロセスに関するガイドライン解説編（厚生労働省） http://www.mhlw.go.jp/file/06-Seisakujouhou-10800000-Iseikyoku/0000078982.pdf
備考	本科目の学習内容は「キャリア教育Ⅰ」での学びを発展させたものである。 各教員のオフィスアワーについては看護学科「オフィスアワー」の項に示す。 第5回目の授業時に実施するミニテストは、採点后返却しますので、しっかりと復習し、最終発表に活かしてください。

授 業 計 画

- 第1回:看護倫理概論（倫理を学ぶ必要性、倫理とは何か）、看護者の倫理綱領（山本）
- 第2回:医療倫理の四原則（自律尊重原則、無危害原則、善行原則、正義原則）（山本）
- 第3回:看護倫理の実際（インフォームド・コンセント、守秘義務など）（山本）
- 第4回:事例検討の進め方、事例の説明（山本）
- 第5回:ミニテスト（1～4回目の授業内容について）
 事例検討第1回（事例について、個人の考えをまとめたものを持ち寄り、グループで話し合う）（全教員）
- 第6回:事例検討第2回（グループで話し合い、発表資料を作成する）（全教員）
- 第7回:事例検討発表会（1回目：事例1・2）（全教員）
- 第8回:事例検討発表会（2回目：事例3・4）（全教員）